

ISO26000の中核主題と伊藤園CSR目標(KPI) 2015年度実績・2016年度目標

※KPI:key performance indicator 重要業績評価指標

		項目	主に関連する	2015年度活動目標	2015年度活動実績	2016年度活動目標
組織統治		CSRマネジメント		<ul style="list-style-type: none"> 3つの重点テーマを軸にCSR/CSVを推進 CSR推進委員会の開催(年6回、内2回は実務者会議) CSR賞の継続 グループ企業CSR推進会議を開催(年4回) 「CSR報告書2015」の発刊 	<ul style="list-style-type: none"> 「伊藤園まち・ひと・しごと創生推進基本方針」を制定し、CSR/CSVを推進 CSR推進委員会を開催(6回、内2回は実務者会議) グループ企業CSR推進会議を開催(年4回) CSR大賞の表彰を実施 伊藤園初の統合レポートを発刊 	<ul style="list-style-type: none"> SDGsの社内浸透の実施(社内への勉強会などの実施) 3つの重点テーマを軸にCSR/CSVを推進:インバウンド・クールジャパン・レガシーへの取り組みを推進 CSR推進委員会の開催(年6回、内2回は実務者会議) CSR大賞優良事例に対する有識者のご意見を反映させた活動の深化 グループ企業CSR推進会議を開催(年4回) 文化プログラム(現在政府で検討中)認証を睨んだ活動の設計(関連部門との協働) まちひとしごと推進基本方針に則した事業の設計(関連部門との協働) (ホストタウン構想を実施する市町村へのアプローチに営業支援) 地方創生活動への参画(まちてん、ふるさとシブヤフェスティバル、首都圏3圏しびら、キャラバンなど)
		コーポレートガバナンス	16	<ul style="list-style-type: none"> 内部統制における業務の有効性・効率性の向上 伊藤園の経営方針・戦略についての企業理解の促進 IR説明会などを通じた、ステークホルダーの当社CSR経営に対する理解促進 コーポレートガバナンス・コードに伴う基本方針策定 	<ul style="list-style-type: none"> 内部統制推進委員会を開催(6回) 個人投資家向けIR説明会を開催(16回、約3,366名対象) 「伊藤園コーポレートガバナンス・ガイドライン」を策定 	<ul style="list-style-type: none"> 内部統制における業務の有効性・効率性の向上 伊藤園の経営方針・戦略についての企業理解の促進 IR説明会などを通じた、ステークホルダーの当社CSR経営に対する理解促進
		ステークホルダーダイアログ	17	<ul style="list-style-type: none"> ステークホルダーダイアログの実施(年2回) マテリアリティ・レビューを実施 グループ企業でのステークホルダーダイアログの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ステークホルダーダイアログを実施(2回) マテリアリティ・レビューの実施 グループ企業でのステークホルダーダイアログを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ステークホルダーダイアログの実施(年2回) グループ企業でのステークホルダーダイアログの実施
		リスクマネジメント		<ul style="list-style-type: none"> BCPに基づく緊急連絡網、備品等の確実な整備、安否確認方策を確立 本社、神楽坂ビル、西新宿ビル、浅草ビルでの防災訓練を実施 災害対策委員会の開催(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> BCPに基づく緊急連絡網、備品等の確実な整備、安否確認方策の確立 各ビルでの防災訓練の実施各ビルでの避難訓練の実施 災害対策委員会を開催(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> BCPの見直し、備品等の整備の推進 本社、神楽坂ビル、西新宿ビル、浅草ビルでの防災訓練の実施 災害対策委員会の開催(2回)
		ESD(持続発展教育)の推進 SDGs(持続可能な開発目標)の推進		<ul style="list-style-type: none"> CSR/CSV/ESDとして体系的なESDの推進 	<ul style="list-style-type: none"> CSR/CSV/ESDとして体系的なESDを推進 	<ul style="list-style-type: none"> CSR/CSV/ESDにおけるSDGsへの取り組み推進
7つの中核主題	人権	人権の尊重	1, 5, 10	<ul style="list-style-type: none"> 人権啓発活動の推進 人権憲章策定検討の継続 	<ul style="list-style-type: none"> 人権啓発活動の推進(ハラスメント等に関する教育) 人権尊重への取り組みを継続 	<ul style="list-style-type: none"> 人権啓発活動の推進(ハラスメント等に関する教育実施) 人権尊重への取り組みを継続
		働きやすい職場環境づくり・多様性の推進	3, 4, 5, 6, 8, 10	<ul style="list-style-type: none"> 働きやすい職場環境のサポート(職場環境改善推進地区委員会を開催) 社員意識調査結果の社内開示 マイナンバー制度への対応を実施 女性管理職比率の向上、多様な人材が活躍でき柔軟な働き方が選択できる仕組みづくり 政策検討プロジェクトにおける女性社員の積極的活用 有期雇用社員の積極的活用(社員転換制度) 改正障がい者法定雇用率 2.0%以上の継続 外国人技能実習生受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> 働きやすい職場環境の取り組みを実施(職場環境改善推進地区委員会を開催) 社員意識調査結果を社内開示 マイナンバー制度への対応を実施 女性社員の活性化(職務の拡大と能力発揮の機会を増加させる取り組みを推進) 高齢者の活性化(改正再雇用制度を周知徹底) 再雇用に関して、65歳までの雇用を確保 改正障がい者法定雇用率 2.0%以上を達成(2.12%) 外国人技能実習生を受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> 働きやすい職場環境のサポート(職場環境改善推進地区委員会を開催) 社員意識調査結果の社内開示の継続的実施 女性社員のネットワークを強化し、組織横断的プロジェクトへの支援 多様な人材が柔軟な働き方を選択でき、活躍できる仕組みづくり 女性社員に対するキャリア支援の推進 「チーム88」の活動支援 有期雇用社員の社員転換制度の更なる充実 無期転換に向けた仕組み作り(同一労働同一賃金等) キャリア支援をベースとした嘱託再雇用制度の見直し 障がい者支援体制の強化(雇用率2.0%以上は維持) 外国人技能実習生の技術・日本語力向上と「技能実習2号」の取得
労働慣行	ワーク・ライフ・バランスの促進	8, 10	<ul style="list-style-type: none"> 労働時間短縮の計画的な取り組みの推進 ノー残業デーの徹底(実施率100%)、有給休暇(年間取得率40%)、長期休暇の取得促進 有休の計画的付与の実施(年2日) 次世代教育支援(男性の育児休業取得推進・くるみんの更新) 	<ul style="list-style-type: none"> 労働時間短縮の取り組みを推進 ノー残業デーを実施(実施率78.0%)、有給休暇の計画的付与を実施(年2日)(年間取得率22.0%)、連続5日以上長期休暇を推奨 男性の育児取得を推進、新しくみんマークを取得(認定の更新) 	<ul style="list-style-type: none"> 労働時間短縮の計画的な取り組みの推進 総所定外労働時間の短縮(2018年5月までに△10%目標)、ノー残業デーの徹底(実施率100%)、有給休暇(年間取得率40%)、長期休暇の取得促進 福利厚生制度における「ファミリーサポート制度」の整備 	
	社員の安全と健康(安全衛生体制の充実)		<ul style="list-style-type: none"> 安全な職場環境づくりの継続推進 健康管理施策の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> 安全衛生活動推進体制を整備 健康診断 100%実施 	<ul style="list-style-type: none"> 全社の安全・衛生を統轄する組織「安全衛生委員会」の実施 ストレスチェックの実施及び高ストレス者に対するフォロー体制の構築 	
環境	環境目標については別紙をご参照下さい。					
公正な事業慣行	コンプライアンス	10, 16	<ul style="list-style-type: none"> 伊藤園グループ行動規範、行動基準徹底継続 コンプライアンス体制の強化 コンプライアンス委員会の開催(6回) ビジネスコンプライアンス検定の取得推進 車両安全教育の実施(安全運転指導者、運転年数の少ない社員、交通事故・交通違反重複者に対する教育の充実) 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス教育の体系的な実施 コンプライアンス強化推進月間の実施 コンプライアンス委員会を開催(6回) ビジネスコンプライアンス検定(検定取得率:対象者の80%以上) 車両安全教育の実施(安全運転指導者、運転年数の少ない社員、交通事故・交通違反重複者に対する教育の充実) 	<ul style="list-style-type: none"> 伊藤園グループ行動規範、行動基準徹底継続 コンプライアンス体制の強化 コンプライアンス委員会の開催(年6回) ビジネスコンプライアンス検定の取得推進 車両安全教育の実施(安全運転指導者、運転年数の少ない社員、交通事故・交通違反重複者に対する教育の充実) 	
	公正な競争・取引		<ul style="list-style-type: none"> 健全な調達取引の徹底 CSR調達基準の作成検討(グリーン調達基準、委託先選定基準、工場購買管理規定の統合) 製造委託先との適正な関係維持推進 	<ul style="list-style-type: none"> CSR調達方針の作成を検討 下請法に基づく教育資料の配信、教育実施 	<ul style="list-style-type: none"> CSR調達方針の策定と公表、仕入先への「自己評価票」の試験実施 製造委託先との適正な関係維持推進 	
	知的財産の保護		<ul style="list-style-type: none"> 知的財産権の尊重と保護、活用、侵害防止の推進強化 	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産権の尊重と保護・活用 	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産権の尊重と保護、活用、侵害防止の推進強化 	

	項目	主に関連する	2015年度活動目標	2015年度活動実績	2016年度活動目標
消費者課題	製品の品質向上・安全性の確保		<ul style="list-style-type: none"> 原料サプライヤーに対する監査(品質監査、トレーサビリティ監査) 製造委託先に対する品質監査 品質会議の開催 残留農薬検査体制の強化 ISO9001、FSSC22000の適正運用 	<ul style="list-style-type: none"> 原料サプライヤーに対する監査(品質監査、トレーサビリティ監査)を実施(69回以上) 製造委託先に対する品質監査:170ライン以上実施(1ライン/回以上) 品質会議の開催(原料・包装で計4回実施) 残留農薬検査体制を強化 ISO9001、FSSC22000の適正運用:実施 伊藤園グループ品質管理方針の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 原料サプライヤーに対する監査(品質監査、トレーサビリティ監査) 製造委託先に対する品質監査 品質会議の開催 残留農薬検査体制の強化 ISO9001、FSSC22000の適正運用 伊藤園グループ品質方針に基づくサプライチェーン管理 食品工場のHACCP導入義務化に向けた対応 J-GAP導入の取り組み推進
	お客様満足(CS)の向上(製品・サービスの改善)		<ul style="list-style-type: none"> お客様満足の向上 商品に対する新表示基準への対応(情報収集) お客様情報に基づく製品設計の見直し ハラル認証の取得(相良工場、伊藤園産業)(下期) お客様アンケート調査の実施(200名) 	<ul style="list-style-type: none"> 食品表示一元化、健康食品の新しい機能性表示基準など、製品に対する新表示基準への対応(情報収集) ハラル認証の申請(相良工場、伊藤園産業) お客様情報に基づき、製品設計を見直しを実施 お客様アンケート調査を実施(200名) コーシャ認証の申請(製造委託先:竹原園製茶場) 	<ul style="list-style-type: none"> お客様満足の向上、持続可能な消費・生産の促進 商品に対する新表示基準への対応(情報収集) お客様情報に基づく製品設計の見直し お客様アンケート調査の実施(200名)
	お客様とのコミュニケーションの強化		<ul style="list-style-type: none"> 伊藤園公式フェイスブックファン数3万人達成 お茶を活用した、お客様との接点を大切にしたい取り組みの強化 消費者団体等との意見交換会の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> 伊藤園公式フェイスブックファン数約2.5万人 店頭での大茶会やお茶セミナー、「お茶っこ会」を年間を通じて継続実施(1,084回) 消費者団体等との意見交換会を実施(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> 伊藤園公式フェイスブックファン数3万人達成 お茶を活用したお客様との接点を大切にしたい取り組みの強化 消費者団体等との意見交換会の継続実施
	食品の健康価値の提供		<ul style="list-style-type: none"> 食品の健康価値に関する研究と発表の実施 機能性表示食品ラインナップの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 食品の健康価値に関する研究と発表を実施(3回) 機能性飲料製品の改良、発売 	<ul style="list-style-type: none"> 食品の健康価値に関する研究と発表の実施 機能性表示食品ラインナップの充実、健康的な食生活の確保
	個人情報の保護		<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の厳正な管理の継続 	<ul style="list-style-type: none"> 特定個人情報取扱規程を制定、適切に管理 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の厳正な管理の継続
コミュニティへの参画及びコミュニティの発展	コミュニティへの参画		<ul style="list-style-type: none"> 「お茶で日本を美しく。」の拡大展開、環境保全保護活動による支援自治体との関係強化 地元自治体、企業、住民と連携した環境保全活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 「お茶で日本を美しく。」を34都道府県で展開 地元自治体、企業、住民と連携した環境保全活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「お茶で日本を美しく。」の継続展開、地元支援自治体等との連携した地方創生活動の推進 地元自治体、企業、住民と連携した環境保全活動の推進 ホストタウン構想への参画
	教育および文化		<ul style="list-style-type: none"> 茶文化の啓発活動の強化 外部団体との関係強化、およびイベントへの積極参加 和食文化国民会議への参画 ティーテイスター制度有資格者の積極的な社外への派遣 	<ul style="list-style-type: none"> 学校、神社、仏閣と連携したイベント活動の展開など ティーテイスター制度を活用したお茶セミナーを年間を通じ継続実施(1,084回)(大茶会への参加、全国スーパーでの大茶会を含め茶の普及活動を実施) 	<ul style="list-style-type: none"> 文化プログラム(政府で検討中)への参画 文化遺産での大茶会、日本茶文化セミナー等による茶文化の啓発活動の強化 外部団体との関係強化、およびイベントへの積極参加 和食文化国民会議への参画 ティーテイスター制度有資格者の積極的な社外への派遣
	地域貢献(雇用創出、技術・技能開発)		<ul style="list-style-type: none"> 茶産地育成事業(新産地事業)における荒茶生産の更なる拡大 年間生産量:881トン(参考:茶園面積約387ha) 農業生産法人との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 茶産地育成事業(新産地事業)における荒茶生産の更なる拡大 年間生産量:916トン(参考:茶園面積約366ha) 農業生産法人との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 茶産地育成事業(新産地事業)における荒茶生産の更なる拡大 年間生産量:960トン(参考:茶園面積約396ha) 農業生産法人との連携強化
	震災支援		<ul style="list-style-type: none"> 震災被災地の就学支援「絆プロジェクト」を継続し、被災地自治体との関係を強化 「お茶っこ会」の展開を継続 	<ul style="list-style-type: none"> 震災被災地の就学を支援する「絆プロジェクト」を継続し、寄付金を贈呈 「お茶っこ会」を年間を通じ継続実施(25回) 	<ul style="list-style-type: none"> 震災被災地の支援を継続し、被災地自治体との関係を強化 「お茶っこ会」の展開を継続

先進国・発展途上国共通の2030年への目標：持続可能な開発目標(SDGs)

※17のゴールの注釈は、関係機関の和訳を参考に当社にて整理したもの



- | | | | |
|------------------------|------------------------|------------------------|---|
| 1. 貧困の撲滅 | 6. 水・衛生の持続可能な管理 | 11. 持続可能なまちづくり | 15. 陸域生態系、森林管理、砂漠化への対処、生物多様性 |
| 2. 飢餓撲滅、食料安全保障・持続可能な農業 | 7. 持続可能なエネルギーへのアクセス | 12. 持続可能な消費と生産 | 16. 平和と包摂的な社会の促進 |
| 3. 健康・福祉 | 8. 包摂的で持続可能な経済成長、雇用 | 13. 気候変動への対処 | 17. 実施手段の強化と持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップの活性化 |
| 4. 質の高い教育 | 9. 強靱なインフラ、産業化・イノベーション | 14. 海洋と海洋資源の保全・持続可能な利用 | |
| 5. ジェンダー平等 | 10. 国内と国家間の不平等の是正 | | |